



引き続き今週も、後関次長撮影の南極の絶景コレクションをお届けします。こちらは帰路の中継地から撮影した地平線付近の太陽。太陽が高く昇らない南極では、これが朝日なのか夕日なのか、もしかして正午なのか？



南極最高峰のヴァインソン・マシフ・・・、かどうかはわかりませんが、飛行機から撮影した南極の高山です。南極には2,000mを越える高山がいくつも存在します。最高峰のヴァインソン・マシフは4,892mにもなります！



こちらも空からの写真です。氷の一部が融け、小さな湖ができ、そこに融けていない氷が浮かんでいます。不純物がないからでしょうか、非常にきれいなブルーの湖になっています！



こちらは昭和基地付近の海と「しらせ」を写した1枚です。「しらせ」は全長138mの大きな船ですが、南極の光景の中ではミニチュアのようにとても小さく見えます。



海に浮かぶ氷山を写した1枚です！真っ白な氷山と、真っ青な海水が南極の雄大な自然を物語っています。一方で、空は日本でも見られるような色。天気が良いと、うっかりここが南極であることを忘れそうです。



ラングホブデの袋浦の光景です。昭和基地から20kmほどにある露岩域と呼ばれる、岩が露出した地域で、ペンギンが多く生息しています。写真中央からやや左下の小さな2つの黒い点がペンギンで、遠くに大きな氷山が見えます！

【次週予告】※後関次長は帰国しましたが、まだまだたくさんのトピックスがあります！

「写真でプレイバック！基本観測棟建築工事」をお送りします！

南極昭和基地のLIVEカメラ！→

